

腸管出血性大腸菌感染症(O157等)の

二次感染を防ぎましょう！！

腸管出血性大腸菌感染症とは？

原因菌

腸管に出血を起こさせる毒素(ベロ毒素)を出す病原大腸菌
(腸管出血性大腸菌)



症状

①頻回の水様下痢や血便 ②腹痛 ③発熱や吐き気

感染経路

①飲食物を介した経口感染

②患者の便に含まれる大腸菌が直接口から入る

③患者の便に含まれる大腸菌がドアノブなどを介して間接的に口から入る

二次感染予防が
大切です！！

★二次感染予防のために、、、

①手洗いの徹底

・患者や家族、支援者は、排便後、便の処理後、食前後の手洗いをしてください。

●手洗いの方法



指先や爪の間、
手首は洗い残し
が多いです！！
指輪や時計は、
外して手洗いし
ましょう

タオルを使用する場
合は患者と共用しな
いください。

②便の処理



- ・処理の際には、ゴム手袋や使い捨ての手袋を使ってください。
- ・おむつ交換は決められた場所で行ってください。
- ・便で汚れた下着は、薬品等で消毒してから家族のものとは別に洗濯してください。煮沸しても十分な消毒効果があります。

③入浴の方法

- ・患者さんと一緒に入浴することは避けてください。
- ・風呂は、患者さんが最後に入るようにしてください。
- ・風呂の水は毎日替え、バスタオルはひとりで一枚を使用してください。



④食材の加熱

- ・食中毒の菌を殺菌するために、加熱して調理する食品は中心部の温度が**75℃**で**1分以上**加熱してください。
- ・加熱したものを室温に放置した後に再び調理する場合も**十分に加熱**してください。

⑤消毒

- ・下記の方法で消毒を実施してください。



手指

- 速乾性擦り式手指消毒剤消毒用エタノール(70%)

トイレの便座や床、 ドアノブ

- 消毒用エタノール(70%)
.....濃度はそのまま使用し薬液を含ませた紙タオル等で拭く
- 次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤5%など)
.....希釈濃度0.02%にした液を含ませた布で拭く(手袋着用)

食器・まな板

- 次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤5%など)
.....台所用洗剤で洗浄後、希釈濃度0.02%にした液に1時間浸し、水洗いする
- 熱湯消毒
.....台所用洗剤で洗浄後、沸騰水をかける

衣類の消毒

- 次亜塩素酸ナトリウム(塩素系漂白剤5%など)
.....希釈濃度0.02%にした液に30分つけた後、洗濯する
- 熱湯消毒
.....おけ等で80℃10分以上処理し、乾燥させる

風呂場

- 熱湯消毒
.....浴槽用洗剤で洗浄し、熱湯で洗い流す

※厚生労働省、大阪府HP等の資料を参考に作成

★消毒液の作り方の例

希釈濃度**0.02%**の場合....

水**1L**に塩素濃度5%の塩素系漂白剤**5ml**

※5ml:ペットボトルキャップ内らせん状部分1番上の線まで
(ペットボトルキャップすりきり1杯分は7.5mlです。)



参考

・厚生労働省.腸管出血性大腸菌感染症Q&A.
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>
・大阪府.腸管出血性大腸菌(O157)にご注意!
<https://www.pref.osaka.lg.jp/o100050/iryo/osakakansensho/o157.html>

〒675-8566 加古川市加古川町寺家町天神木97-1
加古川健康福祉事務所 (加古川保健所)
健康管理課 TEL 079-422-0002